

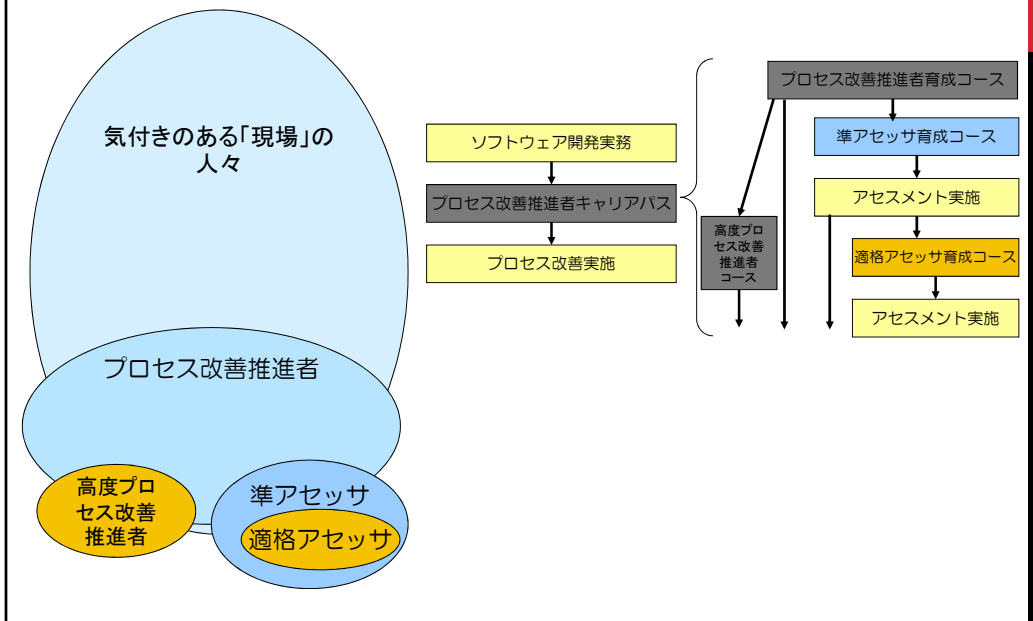
# 改善推進者の役割

## この解説の概要

1. プロセス改善推進者とは
2. プロセス改善の主体
3. 改善の組織構造
4. 推進者に必要な知識
5. 推進者に必要なスキル
6. 推進者のキャリアパス
7. 改善の基本留意点



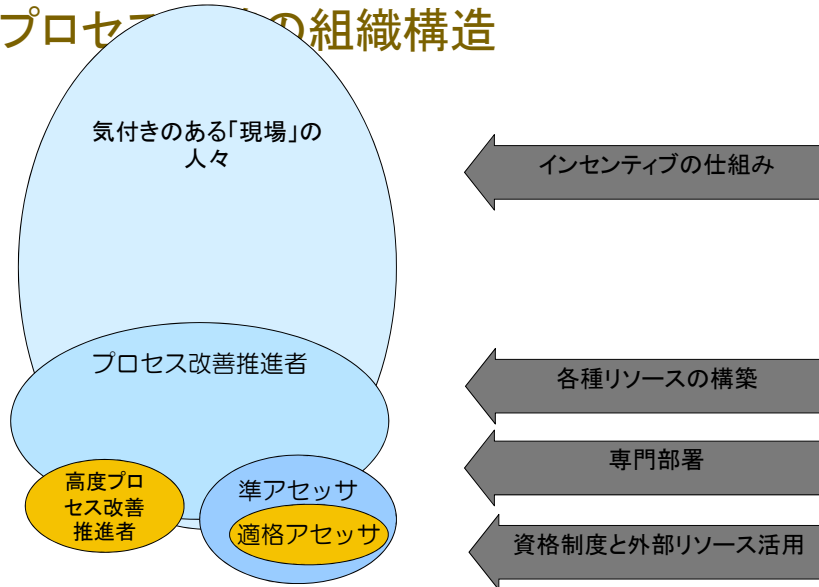
## プロセス改善推進者とは



## プロセス改善の主体

- 「現場」の人々が、自分自身の仕事のやり方を変えていくのが基本目的
  - 「推進者」が代行することはできない
  - 「推進者」が、ヒントを出し、現場とともに知恵を寄せ合うことは可能だし、重要
  - 「管理者」は、それらの機会、リソース(費用、時間、要員)を確保することが重要
  - 奨励、インセンティブ付与、横展開の仕組みの開発も重要
  - プロセス改善の知識・ツール・データ蓄積のセンター構築などの仕組みも重要

## プロセス改善の組織構造



## 推進者に必要な知識

### ◆ 開発に適用される新技術に関心を持つ（プロセスの豊富な知識）

#### ◆ プロセスの知識

##### ➢ 顧客—供給者プロセスグループ

・ P.1.1 取得準備プロセス、P.1.2 供給者選択プロセス、・・・、etc.

##### ➢ エンジニアリングプロセスグループ

・ P.2 供給プロセス、P.3.1 要求事項抽出プロセス、・・・、etc.

##### ➢ 支援プロセスグループ

・ S.1 文書化プロセス、S.2 構成管理プロセス、・・・、etc.

##### ➢ 管理プロセスグループ

・ O.1.3 プロジェクト管理プロセス、O.1.4 品質管理プロセス、・・・、etc.

##### ➢ 組織プロセスグループ

・ O.1.1 組織に関するアライメントプロセス、・・・、etc.

#### ◆ エンジニアリング、ツールを始めとした多岐にわたる最新知識の習得

#### ◆ 自社への適合性に十分に留意する

## 推進者に必要なスキル

### ◆ 改善事例の経験と分析

- 他社事例（SECのベストプラクティス事例など）
- セミナー、ワークショップなど（JISA、JASPIC、NSPICE、SEA－SPINなど任意団体及びコマーシャルベースセミナーを含む）

### ◆ 問題の深い分析

- なぜなぜ分析や、問題の相互関係の分析
- 技術課題の検討
- チームと関係者の人的な関係やコミュニケーションの検討

## 推進者に必要なスキル

### ◆ 現場の納得と意欲

#### ◆ 分析と納得の手段

- ◆ 図解、印象的な文言、音声
- ◆ 動作、トライアル、実情の見える化

#### ◆ 調査を活用したい

#### ◆ 目標達成による納得

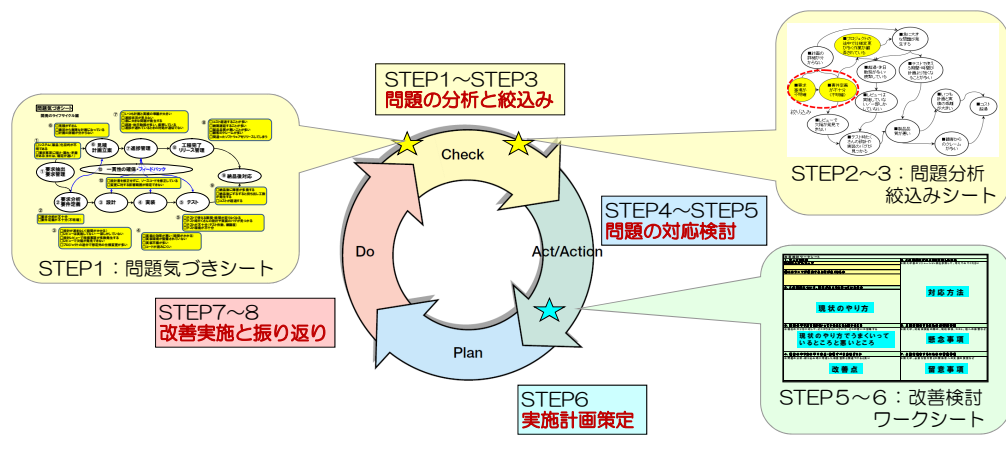
- ◆ 同じ思想でしぼることはしない
- ◆ 達成した目標の次のステップの提案を引き出す

## 推進者に必要なスキル

- ◆ 状況に合わせて改善の道具を使い分ける
  - アセスメントベース改善
  - 課題ベース改善
  - SPINA3CH等の活用
- 状況に合わせて、プロセスモデルや、プロセス技術を使い分ける

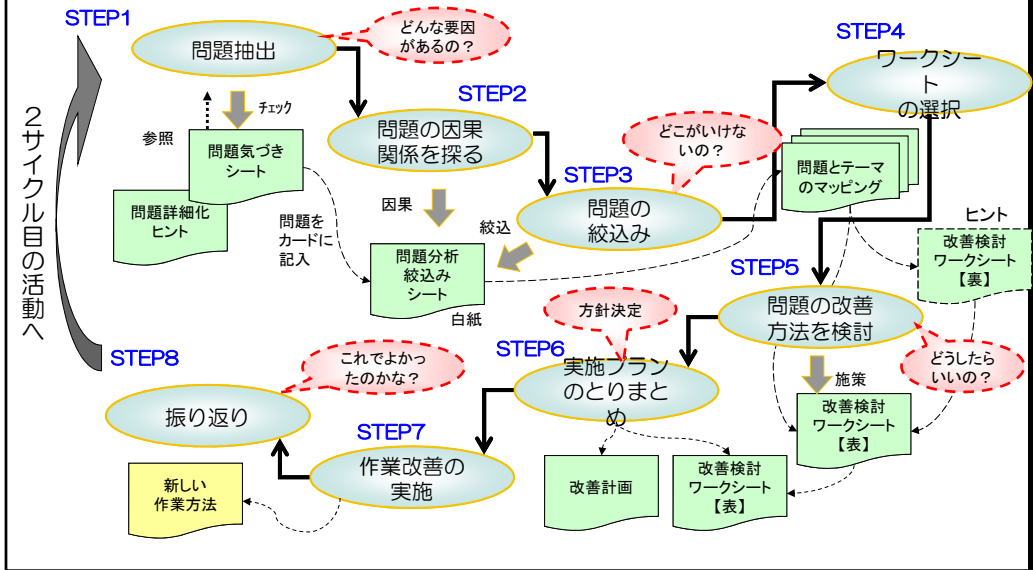
## 推進者に必要なスキル

- ◆ 自律改善メソッド SPINA<sup>3</sup>CH <http://sec.ipa.go.jp/reports/20110707.html>  
(SPI with Navigation, Awareness, Analysis, Autonomy for Challenge)
  - ◆ 適用場面: 漠然と問題を感じてはいるが、具体的な課題になっていない

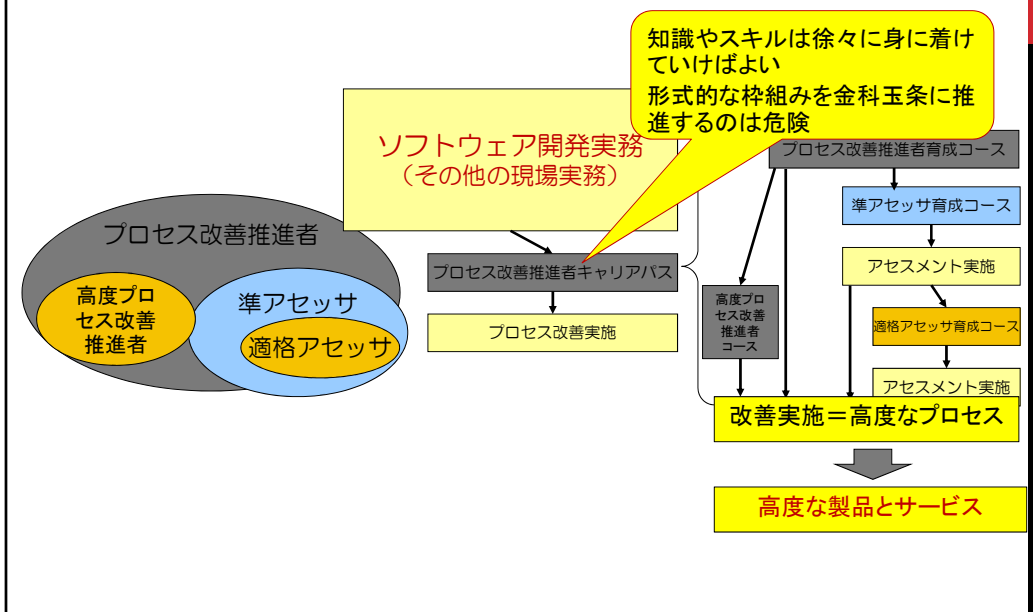


## 推進者に必要なスキル

### ◆ SPINA<sup>3</sup>CH:実施のフロー



## 改善推進者のキャリアパス



## SEC BOOKで学ぶ改善の基本留意点

- ◆ 虎の巻編の巻頭から
  - ◆ 明確な目的・目標を持つこと
  - ◆ 関係者間で認識が共有されること
  - ◆ 現実的に進めること
  - ◆ 活動を継続すること
  - ◆ 全員が参画すること
  - ◆ 人が中心となること
  - ◆ 成功を分かち合うこと
  - ◆ 計画的に行うこと
  - ◆ 主体性を持つこと
  - ◆ 事実情報に基づいた行動をとること